



環境保全活動のあゆみ。

YAZAKIの活動	社会の動き
電線製造にトーマス炉を導入し銅資源の再利用を開始	1957年
1961年	世界自然保護基金(WWF)設立
1962年	レイチェル・カーソン『沈黙の春』発行
1964年	
1967年	トリー・キャニオン号座礁事故発生 公害対策基本法制定
1968年	「スカンジナビアの酸性雨の原因はヨーロッパにおける大気汚染物質である」とオーデンが発表 大気汚染防止法制定 騒音規制法制定
1969年	
1970年	海洋汚染防止法(海水油濁防止法の廃止)制定 水質汚濁防止法、公害対策基本法、廃棄物処理および清掃に関する法律の制定
1971年	環境庁設立
1972年	ローマクラブ「成長の限界」発行 国際人間環境会議開催(スtockホルム) 自然環境保全法公布 政府、初の「環境白書」を発表
1973年	マルポール条約 大気汚染防止法改正
1974年	
1975年	ワシントン条約(CITES)・野生動物植物保護 ロンドン・ダンピング条約・海洋汚染防止 ラムサール条約・渡り鳥保護 振動規制法制定
1976年	
1977年	国連砂漠化防止会議開催
1979年	
1980年	スリーマイル島で原子力発電所事故
1981年	NOx総量規制の導入
1982年	
1983年	
1985年	ヘルシンキ議定書・SOx排出量削減
1986年	
1987年	絶滅危惧野生動物種保存法制定 モントリオール議定書発行
1988年	オゾン層保護法制定 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)設置
1989年	バーゼル条約・有害性廃棄物越境移動規制 エクソン・バルディーズ号座礁事故発生
1990年	地球温暖化防止行動計画策定
1991年	再生資源の促進に関する法律制定
1992年	リオ「地球サミット」(気候変動枠組条約・森林原則声明・ 生物多様性保全条約・アジェンダ21)開催
1993年	環境基本法制定
1994年	環境基本計画策定
1995年	気候変動枠組条約・第一回締約国会議(COP1)開催 特定フロン全廃
1996年	大気汚染防止法改正、水質汚濁防止法改正 ISO14001国際標準化規格スタート
1997年	廃棄物処理法改正 気候変動締約国会議(COP3:京都)開催
1998年	家電リサイクル法制定
1999年	ダイオキシン類対策特別措置法制定 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に 関する法律(PRTR法)制定
2000年	循環型社会形成推進基本法制定 容器包装リサイクル法制定 気候変動締約国会議(COP6:ハグ)開催 気候変動締約国会議(COP6再開会会:ボN)開催
2001年	
2002年	自動車リサイクル法成立

環境保全活動のあゆみ